

農問研ニュース 第13号

2013年7月

◆本号の内容

1. 名誉会員の決定について
 2. 著作権規程が制定されました
 3. 若手研究者研究助成事業が創設されました
 4. 2013年度春季大会が開催されました
 5. 2012年度学会賞が決定しました
 6. 2013年度秋季大会の概要について
 7. 会員の新著をお知らせください
 8. 2013年度常幹体制が決定しました
 9. 2013年度総会議事要旨
-

1. 名誉会員の決定について

2013年3月28日(木)の農業問題研究学会総会において、幹事会は農業問題研究学会会則に基づき、梶井功会員と倉内宗一会員を名誉会員に推薦しました。総会では、両会員を名誉会員とすることが決定されました。

【2013年度名誉会員】

梶井 功 会員

倉内 宗一 会員

2. 著作権規程が制定されました

2013年度総会において、「農業問題研究学会著作権規程」の制定が決定されました。この規程は、農業問題研究学会が編集・発行する会誌『農業問題研究』及び大会予稿集に採録されて公表された著作物の権利帰属を明確にし、著作権の行使を学会に委託することを定めたものです。詳しくは、学会ホームページ (<http://rural-issues.sakura.ne.jp/>) をご覧ください。また、著作権者は、本規程の施行(本年4月1日付)から 12ヶ月間、著作権の帰属について学会に異議申し立てをすることができます。詳しくは、後日お送りする「著作権規程制定に伴う著作権の譲渡について(通知)」をご覧ください。

以前にお送りした、「電子公開に伴う本学会への著作権行使の委託について(通知)」には誤りがありました。ご注意ください。また、この件につきましては追って学会ホームページにも掲載致しますので、ご覧ください。

3. 若手研究者研究助成事業が創設されました

2013 年度総会において、「若手研究者研究助成事業」が創設されました。この事業は、農業問題研究学会の将来を担う若手研究者を育成することを目的とし、来年度から毎年、単年度の事業として会員の若手研究者に研究費を助成するものです。詳しくは、学会ホームページをご覧ください。また、事業への申し込み方法等詳細は、別にお知らせいたします。若手会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

4. 2013 年度春季大会が開催されました

2013 年 3 月 28 日（木）に、東京農業大学において 2013 年度春季大会が開催されました。全国的に設立が進んでいる集落営農をテーマに、77 人が参加する盛会となりました。

【日時】 2013 年 3 月 28 日（木） 9：30～17：40

【場所】 東京農業大学・世田谷キャンパス

【大会テーマ】 集落営農と地域農業

【座長】 高橋 明広（中央農業総合研究センター）

【報告】 第 1 報告 中国中山間地域における集落営農の問題と展望

—ネオリベリズム政策下における生活本位の事業展開—

伊庭 治彦（神戸大学）

第 2 報告 北陸水田兼業地帯における集落営農の動向

—富山県の事例分析を通じて—

島辺 清志（富山県農林水産部）

第 3 報告 東北における集落営農の現段階と地域農業

—秋田県平坦水田地帯の動向から—

中村 勝則（秋田県立大学）

【コメンテーター】 第 1 報告に対して 小林 元（社団法人 JC 総研）

第 2 報告に対して 宮武 恭一（中央農業総合研究センター）

第 3 報告に対して 角田 毅（山形大学）

5. 2012 年度学会賞が決定しました

学会賞選考委員会における厳正な審査の結果、2013 年度総会において次の作品に対し 2012 年度農業問題研究学会学術賞が授与されることに決まりました。

長谷川啓哉著『リンゴの生産構造と産地の再編 —新自由主義的経済体制下の北東北リンゴ農業の課題— 』、筑波書房、2012 年 3 月。

なお、農業問題研究学会では 2013 年度も「農業問題研究学会賞」（学術賞・奨励賞）の推薦を募集します。

会員の皆様は学会賞の選考対象を推薦することができます。多くのご推薦をお待ちしております。特に、2011・12年度の奨励賞は2年連続で該当なしでしたので、若手会員の業績の推薦を頂けると幸いです。募集要項につきましては、別にお知らせいたします。また、同じく学会ホームページに掲載しております学会賞表彰規程ならびに学会賞表彰規程細則もご参照ください。

6. 2013 年度秋季大会の概要について

2013 年度秋季大会の概要が決まりましたので、お知らせいたします。秋季大会では午前の部において個別報告を実施いたします。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。なお、秋季大会の詳細な内容につきましては別にお知らせいたします。

【日時】 2013 年 11 月 23 日（土・勤労感謝の日）

【会場】 法政大学・市ヶ谷キャンパス

【内容】 個別報告＋ミニシンポジウム

7. 会員の新著をお知らせください

我が国の農業構造が大きく変貌を遂げている中で、農問研の基本的なスタンスである、実態調査に基づいた構造分析・政策提言の意義はますます大きくなっています。

そこで、常任幹事会では現在、会員の皆様の最近 2～3 年の著書につきまして、ホームページ上で紹介していくことを検討しております。対象となる会員の皆様におかれましては、事務局までご一報いただけると幸いです。また、今後新たに出版される場合もお知らせください。

8. 2013 年度常任幹事会の体制について

本年 5 月 17 日（金）に開催された第 1 回常任幹事会において、2013 年度の体制が下記のように決まりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表幹事	荒井 聡（岐阜大学）
編集委員会担当（編集委員長）	大山 利男（立教大学）
学会賞担当（学会賞選考委員長）	橋詰 登（農林水産政策研究所）
大会企画担当	友田 滋夫（農村開発企画委員会）
大会事務担当	佐藤 奨平（農政調査委員会）
事務局担当	大仲 克俊（JC 総研）
庶務担当	西川 邦夫（東京大学／日本学術振興会）

9. 2013 年度総会議事要旨

2013 年 3 月 28 日 (木) に、東京農業大学において 2013 年度通常総会が開催されました。主要な議事の内容は以下の通りです。

(1) 報告事項

- ・ 2012 年度の大会開催状況、幹事会開催状況、常任幹事会開催状況等について報告があった。
- ・ 編集委員会の開催状況、会誌発行状況 (2 号発行) について報告があった。
- ・ 会員数とその増減について報告があった。
2012 年度期首：251 人 → 12 年度期末：250 人 (入会者：4 人、退会者：5 人)
2013 年度期首：241 人 (年度末退会者：2 人、会員資格喪失者 7 人)
- ・ 会費納入状況について報告があった。
2012 年度会費納入対象者 250 人のうち、176 人が会費を納入済 (70.4%)
長期滞納者は、5 年分未納者 4 人、4 年分未納者 9 人、3 年分未納者 17 人

(2) 承認事項

- ・ 2012 年度決算案について承認された。
- ・ 2013 年度名誉会員が決定された。
- ・ 2013 年度新体制 (幹事会・編集委員会・会計監査) について承認された。

◆新幹事 (24 名)

【北海道】 井上誠司 (酪農学園大学) 杉戸克裕 (北海道農業研究センター)
【東北】 泉谷眞実 (弘前大学) 冬木勝仁 (東北大学) 津田渉 (秋田県立大学)
【関東】 小林茂典 (農林水産政策研究所) 大山利男 (立教大学)
橋詰登 (農林水産政策研究所) 佐藤奨平 (農政調査委員会)
山崎亮一 (東京農工大学) 澤田守 (農業・食品産業技術総合研究機構)
神代英昭 (宇都宮大学) 平林光幸 (農林水産政策研究所)
大仲克俊 (JC 総研) 友田滋夫 (農村開発企画委員会)
西川邦夫 (東京大学／日本学術振興会)

【北陸・中部】 加藤辰夫 (福井県立大学) 荒井聡 (岐阜大学)

【近畿】 松原豊彦 (立命館大学) 大西敏夫 (和歌山大学)

【中国・四国】 板橋衛 (愛媛大学) 池本良教 (広島国際学院大学)

【九州・沖縄】 山浦陽一 (大分大学) 渡辺克司 (鹿児島国際大学)

→ 幹事承認後に第 1 回幹事会を開催し、互選により荒井聡氏 (岐阜大学) を代表幹事として選出した。

◆編集委員会関係

- ・ 新編集委員長 (任期：2013 年度)

大山利男（立教大学）

・新編集委員（任期：2013～15 年度）

関司直也（法政大学） 北原克宣（立正大学）

◆会計監査 西山未真（千葉大学） 小柴有理江（農林水産政策研究所）

（3）討議事項

- ・2013 年度の事業計画が承認された。
- ・2013 年度予算案が承認された。
- ・著作権規程が承認された。
- ・若手研究者研究助成事業が承認された。

【連絡先】 農業問題研究学会事務局

TEL : 03-5213-4330 FAX : 03-5213-4331

((財) 農政調査委員会内 担当：佐藤・秋山)

E-mail : jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp